

# 令和4年度事業報告

令和4年度において実施した事業について、以下のとおり報告します。

## 第1 組織運営

### 1. 会員の異動状況

令和4年3月31日現在	247 社
令和4年度入会会員	3 社
令和4年度退会会員	3 社
令和5年3月31日現在	247 社

### 2. 総会、理事会等の開催

#### (1) 定時総会

**第11 回定時総会**（出席及び書面による議決権行使により開催）

日 時 令和4年6月9日（木）16:00～17:30

場 所 芝パークホテル 2階ローズ

報告事項 (1) 令和3年度事業報告について

(2) 令和4年度事業計画及び予算について

決議事項 第1号議案 令和4年度収支決算報告について

第2号議案 会費の値上げについて

#### (2) 理事会

##### ア 第1回理事会

日 時 令和4年5月20日（金）

場 所 芝パークホテル 2階アイビー

審議事項 第1号議案 令和3年度事業報告について

第2号議案 令和3年度収支決算報告について

第3号議案 会費の値上げについて

第4号議案 人材育成事業を継続実施するための寄附金の募集について

##### イ 第2回理事会

日 時 令和4年6月9日（木）

場 所 芝パークホテル 2階アイビー

議 事 第11回定時総会について

##### ウ 第3回理事会（出席及びWEBにより開催）

日 時 令和5年3月24日（金）

場 所 農業土木会館 2階B会議室  
報告事項 ① 令和4年度事業報告（案）について  
② 令和4年度決算見込について  
議決事項 第1号議案 令和5年度事業計画（案）について  
第2号議案 令和5年度収支予算（案）について  
第3号議案 定時総会の開催について  
第4号議案 新規入会の承認について  
第5号議案 諸規程の改訂について  
第6号議案 人材育成事業を継続実施するための寄附金の募集について  
その他 (1) 役員の改選について

### (3) 委員会

#### ア 総務企画委員会

同委員会を3回（5月12日、9月26日、3月13日）開催し、理事会及び定時総会へ提案する議案を審議した。

#### イ 広報委員会

3回（4月6日、7月1日、10月4日）に出席及び書面により開催し、会誌 JAGREE102号～103号、104号の編集方針の審議等を行った。

## 第2 事業の概要

### 1. 調査研究等

#### (1) コンサルタantz部門

コンサルタantz幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

##### <主な調査・検討事項>

円滑な業務の実施及び品質の高い成果の提供を行うため、入札・契約方式やその運用に関する課題、業務執行上の問題点等について、会員へのアンケートによる実態把握調査を実施し、以下について検討を行った。

- ア 業務内容に応じた適切な入札契約方式（プロポーザル方式、総合評価方式、価格競争方式）の適用及び情報開示。
- イ 参加表明書・技術提案書等の重複資料の省略化、添付書類の削減と電子入札制度を生かした省力化及び低入札基準価格算定数値の引き上げ。
- ウ 機能診断調査業務、地質・土質調査業務に係る歩掛りについて、適用条件・補正係数等を現場実態及び作業実態にあった積算。

- エ 設計業務の打合せの配置人員を業務実態に合わせるとともに、旅費交通費積算に係る条件の明確化。
- オ 設計変更の適切な措置及び工事円滑会議に係る準備作業について作業実態に合った経費の計上。
- カ 業務環境の改善についてウィクリースタンスの確認の徹底、情報共有システム及びWeb会議の効率的な運用。

<主な報告事項>

実態把握調査結果をもとに、「調査・測量・設計」業務の品質確保等に関する改善方策について関係機関に提案を行った。また、地域建設コンサルタントの活用等の改善要望を行った。

令和4年度 コンサルタantz幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構成 (名)	開催 回数
(1) コンサルタantz幹事会	7月12日、11月9日、3月28日	8	3
(2) 意見交換会 農林水産省	7月12日、3月28日	/	2

(2) 水利施設保全管理補修部門

<主な調査・検討事項>

- ア 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路編】の改定について関係会員の意見を集約し検討を行うとともに、改訂案について10月に査読を行い、修正意見等を農水省に要望した。
- イ 中央研修会の開催、農業水利施設保全補修ガイドブック2022について編集部会を開催し掲載原稿の確認を行った。
- ウ 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【パイプライン編】の課題等について関係会員から意見等を集約し、改訂に向けた検討を農水省に要望した。

<主な報告事項>

- ア 農業水利施設の保全補修技術の効率的かつ効果的な利活用を推進することを目的に中央研修会を11月11日に開催。(5講義、参加者208名、うち33名が国営事業所等の職員)
- イ 農業水利施設保全補修ガイドブック2022を8月に発行し、国、都道府県、県土連等の関係機関に500部配布した。

(3) セメント製品部門

セメント製品幹事会、目地材WGを開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

<主な調査・検討事項>

- ア プレキャストコンクリート製品の活用促進。
- イ プレキャストコンクリート製品（フリーム水路等）の活用促進の課題となっている目地材について、WGで目地材の性能品質・施工マニュアル等について検討を行った。

<主な報告事項>

- ア プレキャストコンクリート製品の活用促進に係る方策について検討を行い、関係機関に提案を行った。
- イ 目地材の性能品質と施工管理マニュアルを「鉄筋コンクリートフリーム規格」の参考資料として7月に策定し協会 HP 上に掲載した。

令和4年度セメント幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構 成 (名)	開 催 回数
(1)セメント製品部会幹事会	7月28日、12月2日	7	2
(2)目地材WG	4月26日、7月26日	8	2
(3)意見交換会 農林水産省	12月2日	/	1

(4) ポンプ部門、鉄構部門、電機機械部門

<主な調査・検討事項>

ポンプ部門、鉄構部門、電機機械部門（施設機械3部門）における工事執行上の問題点等について、会員へのアンケートによる実態把握調査を行った。

<主な報告事項>

- ア 鉄構部門では部会を1月30日に開催し、農林水産省への要望提案事項を検討するとともに、農林水産省との意見交換会を2月7日に行った。意見交換会では、工期設定、工事の採算性、発注方式などについて要望提案を行った。
- イ ポンプ部門では部会を1月23日に開催し、農林水産省への要望提案事項を検討するとともに、農林水産省との意見交換会を2月7日に行った。意見交換会では、発注方式、工期設定、配置技術者要件などについて要望提案を行った。

(5) その他

「総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加点措置」に関し、この取組が継続する場合は、企業経営に対する影響が懸念されるため、コンサルタンツ幹事会では、1月25日に農林水産省と、また2月13日に参議院進藤議員及び宮崎議員と、それぞれ意見交換会を開催した。意見交換会では、当該取組のための環境整備として、農業農村整備事業の維持・拡大、設計業務委託単価の継続的な引き上げ、調査基準価格の引き上げ等について、要望提案を行った。

## 2. 研修等

### (1) 農業水利施設機能総合診断士制度

既存の農業水利施設の機能維持及び保全管理を図るため、農業水利施設機能総合診断士（機能総合診断士）のオンデマンド方式 Web 講習会及び認定試験を実施した。また、機能総合診断士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催した。

#### ア 講習会・認定試験の実施

##### 令和4年度 講習会・認定試験実施状況

名 称		開 催 日	申込者数 (名)
Web 講習会		10月1日～10月30日	39
認定試験	東京会場	11月26日	39
	福岡会場	11月26日	33

認定試験結果：受験者数 60名 合格者 21名 (合格率 35%)

農業水利施設機能総合診断士合格者 累計 816名

#### イ 関係委員会の実施

##### 令和4年度 関係委員会開催状況

委員会名	構成 (名)	開催回数
資格制度運営委員会	7	2
講習委員会	9	2
試験委員会	8	5

#### ウ 新規登録及び登録の更新

試験合格者の登録申請により、新規登録を行い登録証書を交付した。

また、今年度有効期限を迎える登録更新申請者の登録更新を行った。

なお、更新に当たっては、提出された業務経験等レポートを審査し、一定水準に達した者について更新を行った。

新規登録者 16名、更新登録者 131名

総合診断士登録者 654 名

## エ 登録者名簿の公表

診断業務に機能総合診断士の有効活用を図るため、「農業水利施設機能総合診断士登録者名簿」を作成し、ホームページで公表した。

## (2) 農業水利施設補修工事品質管理士制度

農業水利施設の補修工事の施工及び施工管理に関わる現場技術者を育成するため、農業水利施設補修工事品質管理士（品質管理士）のオンデマンド方式 Web 講習会及び認定試験を実施した。また、品質管理士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催した。

### ア 講習会・認定試験の実施

#### 令和 4 年度 講習会・認定試験実施状況

名 称	開 催 日	申込者数 (名)	
Web 講習会	6 月 6 日～30 日	99	
認定試験	秋田会場	7 月 16 日	54
	仙台会場	7 月 16 日	26
	東京会場	7 月 16 日	15
	京都会場	7 月 16 日	9
	福岡会場	7 月 16 日	19

認定試験結果：受験者数 123 名 合格者 74 名 (合格率 60.2%)

農業水利施設補修工事品質管理士合格者 累計 1,487 名

### イ 関係委員会の実施

#### 令和 4 年度 関係委員会開催状況

委 員 会 名	構 成 (名)	開催回数
資格制度運営委員会	7	2
講習委員会	9	1
試験委員会	5	1

### ウ 新規登録及び登録の更新

試験合格者の登録申請により、新規登録を行い登録証書を交付した。

また、今年度有効期限を迎える登録更新申請者の登録更新を行った。

なお、更新に当たっては、WEB 講座の視聴及び実務経験等レポートの提出のあった者について更新を行うとともに、継続教育の観点から、今年度より更新者に対して講習会テキストの提供を行った。

新規登録者 69 名、更新登録者 182 名

品質管理士登録者 1,092 名

## エ 登録者名簿の公表

補修工事の品質管理及び施工管理に品質管理士の有効活用を図るため、「農業水利施設補修工事品質管理士登録者名簿」を作成し、ホームページで公表した。

### (3) JAGREE セミナー (WEB 開催)

会員企業技術者の技術力向上を支援するため、新たに WEB セミナーを企画し、令和 4 年度は 3 回開催した。

#### 第 1 回 R4.7.7 (参加者 163 名)

講演内容及び講師

① 農業分野への気候変動の影響について

農研機構農業環境研究部門気候変動適応対策研究領域グループ長 長谷川利拡 氏

② 流域治水について

農林水産省農村振興局整備部水資源課農業用水対策室長 森井秀之 氏

#### 第 2 回 R4.10.5 (参加者 136 名)

講演内容及び講師

① 農業水利施設による利水と治水の両立-気候変動への適応を目指して-

農研機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域 流域管理グループ

上級研究員 吉田 武郎 氏

② ポンプ設備の省エネルギー

(株)荏原製作所 風水力機械カンパニー システム事業部 社会システム技術部

プロジェクト設計第 4 課長 松田 啓志 氏

技術計画第 3 課 高橋 欣士 氏

#### 第 3 回 R5.2.2 (参加者 109 名)

講演内容及び講師

① 農村地域における総合的な防災・減災対策について

農林水産省農村振興局整備部防災課 防災・減災対策室長 渡邊雅彦 氏

② 農地・農業用施設に係る災害復旧について

農林水産省農村振興局整備部防災課 災害対策室長 山根伸司 氏

## 3. 図書刊行事業

「農業水利施設の機能保全の手引き」、「鉄筋コンクリートフリューム規格」等 14 種類の専門図書を頒布した。

## 4. 新型コロナウイルス感染症及び気象災害等への対応

### (1) 新型コロナウイルス感染症

## 会員との情報共有

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する発注機関等からの通知について、会員企業へ迅速に情報共有するとともに、必要に応じて発注機関等への要望提案を行った。

## (2) 気象災害等への対応

ア 「災害時の応急対策業務に関する協定書」第4条に基づく対応

「災害時の応急対策業務に関する協定書」の第4条（業務の実施体制等）に基づき、今年度の連絡体制及び実施体制を定め地方農政局長に報告するとともに、土地改良施設である排水機場の地震等の大規模な自然災害の発生に備えた。

イ 令和4年台風豪雨災害への対応

令和4年9月の台風14号豪雨災害に関する宮崎県高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町および台風15号豪雨災害に関する静岡県静岡市の災害復旧事業について、「災害時における地方公共団体が行う農地・農業用施設災害復旧事業等に対する復旧支援に関する協定書」に基づき、農村振興局長から当協会会長あてに支援要請があり、地方協会を通じて会員企業へ協力要請を行った。

## 5. 人材育成事業

協会創立50周年記念事業で制作した農業農村プロモーションツール（小冊子）について、令和4年7月に大学情報を改定したうえ2022年版として印刷し、同年8月、オープンキャンパスなどでの配布需要により要望のあった大学等へ、追加で4,900部（2022年版3,950部、2020年版950部）を配布した。

また、動画の視聴及び小冊子のダウンロードが可能な特設WEBサイトについても継続して開設した。

なお、令和4年度における人材確保育成事業の費用については、会員企業からの寄附を募りこれに充てた。

## 6. 企業技術PR事業

本年度事業計画においては、創立50周年記念オンライン展示会サイトをリニューアルし、会員紹介サイト（仮称）として新たに運用することとしていたが、会員紹介サイト検討委員会及び広報委員会にて検討の結果、会員への費用転嫁が難しい、製品等の常設展示に関するトラブルが懸念される、発注者のアクセスを確保する見込みが立たない、との理由から本年度の実施を取りやめることとした。

しかし、令和3年度に会員及び協会の資金により制作したWEBサイトを、1年で放棄することも避けるべきであることから、本年度については、オンライン展示会サイトを現状のま

ま 50 周年記念事業のレガシーとして公開した。

## 7. 主な行事、広報活動等

### (1) 広報活動等

#### ア 会誌 JAGREE の発行

会誌 JAGREE102 号及び 103 号を 2,000 部発行し、会員及び関係機関、団体へ配布した。

#### イ 会員名簿の発行

協会各 8 部門の会員企業名等を掲載した令和 4 年度版会員名簿を作成・配布した。

### (2) 地方協会活動への参画と支援

#### ア 地方協会活動への参画

地方協会が行う総会、要望活動等について、求めに応じて参画した。

また、地方協会が行う地方農政局への要望提案活動結果をとりまとめ、農林水産省本省へ提出した。

#### イ 各地方農業土木事業協会合同提案会の開催

地方協会が令和 3 年度に行った地方農政局への要望提案事項をとりまとめ、この内容について各地方協会担当者と農林水産省及び地方農政局の設計課とが意見交換を行う「各地方農業土木事業協会合同提案会」を（R4. 8. 3）オンラインで開催した。

また、「農林水産省発注の調査・設計業務における地域建設コンサルタントの活用に関する要望書」を、本省幹部を（R4. 12. 1）訪問し直接提案した。

### (3) 関係機関、団体活動への協力

（公社）農業農村工学会、全国農村振興技術連盟等が主催する研修会に参加した。また、（公社）農業農村工学会、（一社）農業農村整備情報総合センター、日本 ICID 協会それぞれの会員として活動に参画した。

### (4) 情報連絡会

例年 9 月及び 3 月、農林水産省の協力を得て、農業農村整備事業予算及び業務・工事等の実施に関する意見交換会を開催してきた。今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ウェブセミナー方式により開催した。

#### 第 1 回（R4. 9. 12：参加 75 社 202 名）

講演内容及び講師

① 農業農村整備事業の令和 5 年度予算等最近の情勢

農林水産省農村振興局整備部長 青山健治 氏

② 調査・測量・設計業務及び工事等に関する動向について

農林水産省農村振興局整備部設計課 課長補佐（積算基準班）上條 剛 氏

#### 第 2 回（R5. 3. 1：参加 74 社 207 名）

講演内容及び講師

① 農業農村整備事業の令和5年度予算等最近の情勢

農林水産省農村振興局整備部長 青山健治 氏

② 調査・測量・設計業務及び工事等に関する動向について

農林水産省農村振興局整備部設計課 課長補佐（積算基準班）上條 剛 氏

#### (5) 農林水産省の施策に関する説明会

会員よりの求めに応じて、農林水産省担当者を講師として招き、以下の施策に関する説明会を開催した。

##### 第1回 R4.5.26（参加39社、165名）

テーマ：農村地域の情報環境整備について

講師：農林水産省農村振興局整備部地域整備課課長補佐（農村資源利活用推進班）

萩尾俊宏氏

##### 第2回 R4.12.13（参加38社、130名）

テーマ：農村型地域運営組織（農村RMO）の形成と最適土地利用対策について

講師：農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課 中山間地域・日本型直接支払室長

岩下幸司氏ほか

##### 第3回 R4.12.14（参加47社、165名）

テーマ：BIM/CIM活用ガイドラインの検討状況について

講師：農林水産省農村振興局整備部設計課課長補佐（情報化施工推進班） 垂井保典氏